

9 ふるさとに会う幸福(29)ロード 新因幡ライン

地域のねらい

目的:「日本の原風景」と呼ぶにふさわしい景観を現在にとどめる国道29号沿線を舞台として、沿線の活動団体が県境を越えて一体となって地域に「にぎわい」を創出するとともに、地域の活性化を図ることを目的としています。

方針:昔ながらの農山村の景観、緑・水の豊かな自然景観、歴史的価値のある文化的景観、また、これらをベースとする食文化、アウトドア、癒やしなど魅力ある地域資源を保全・有効活用し、地域内外から交流人口を増やす活動を実践しています。

活動エリアと地域資源

活動エリアは、メインルートを国道29号の宍粟市山崎ICとの結節点から終点の鳥取市までの約90km、サブルートを若桜・八頭町内の国道482号の約31kmとした沿線2市2町を範囲とします。沿線には、田園・森林などの農山村の景観、氷ノ山・音水湖・揖保川などの自然景観、若桜宿・不動院岩屋堂・若桜鉄道・伊和神社などの歴史的価値のある文化的景観が多数存在します。また、自然の恵みであるジビエ・フルーツの食文化、バイクツーリングなどのアウトドア、温泉や森林セラピーの癒やしなどが地域資源です。



秋晴れのドライブ(宍粟市)



地域の活動内容

環境美化活動 (R29活性化委員会)

毎年9月に国道29号沿いの清掃・除草・花植え活動を地域住民や小学生と一緒にしています。また、沿線の古民家を拠点にナチュラルガーデン講習会を開催し、県外からも愛好者が参加しています。



29号沿道の環境美化活動

隼駅まつり (隼駅を守る会)

若桜鉄道隼駅と同名のバイク「ハヤブサ」ライダーとの交流を通じて、八頭町隼地域を観光スポットとして全国へ発信し、地域の活性化を図っています。毎年8月に「隼駅まつり」を開催し、平成27年度は全国から1,200台のハヤブサが「ハヤブサの聖地」に集結しました。



隼駅まつり

1129 (イイニク) 感謝祭 (29ロードネットワークス実行委員会)

国道29号を「美味しく楽しいエリア」と位置づけ、沿線飲食店などの出展によるビーフ、ポーク、チキン、ジビエの21種類の肉グルメイベントを毎年11月29日(イイニク)近辺で開催し、平成27年度は3日間で6,500人が来場しました。



1129 (イイニク) 感謝祭

ふるさとWALK (奥播磨夢倶楽部)

定期的に地元住民のガイドと共に、地域内でウォーキングコースを設けて、『ふるさとWALK』を企画・実施しています。平成27年度は、計4回の運営を予定しており、参加者の内訳は、地域外からの参加が7割を占めます。



ふるさとWALK

今後の取組

今後は、各地域をつなぐ交流会を開催し、相互理解をさらに深め、一緒になって地域資源を有効に活用した沿線の「にぎわい」を創出する活動を実践します。

(例) 県境を越えるウォーキング・肉グルメイベント、沿線地域が連携した環境美化活動、沿線全体の情報発信 など

地域の推進体制

新因幡ラインパートナーシップ

沿線の民間活動団体「R29新因幡ライン協議会」を中心に、沿線自治体(鳥取県、兵庫県、鳥取市、八頭町、若桜町、宍粟市)及び各道路管理者によりパートナーシップを構成しています。

